

2018年8月

7月の豪雨により、多くの方々が被災され、亡くなられた方も多く、ご冥福をお祈り申し上げます。そして、まだ避難生活を送られている方々には、心よりお見舞い申し上げます。

7月8日、京都南禅寺近くの「ウエスティン都」ホテルで、にしいたかこ「和 モダンで愉しむ フラワーデザイン」の発刊記念祝賀会を催し130名の方々がご臨席賜りました。

前日まで、平成では一番の雨量となり各地では水害による土砂崩れや家屋の倒壊がテレビ、新聞で報じられていました。

当日は時折晴れ間が見えるお天気になりました。朝早くに家を出て三条にある菩提寺へ今日の祝賀会の報告にお参りをして、会場には10時前に着き、受付近くで来られる方々にご挨拶。

祝賀会が始まりそれぞれ来賓の方々に祝辞をいただき、「にしいたかこ」によるデモンストレーションに進み、約3時間、明るく和やかな雰囲気の中、私の謝辞の順番が回ってきました。

挨拶近くになるにつれトイレへ何回か足を運びました。

司会者より指名され壇上に立ってみなさんを見渡し「皆さんようこそ、この交通事情の

悪い中」と話し出したのですが完全に上がってしまい、声が上ずっているのが自分でもよく判りました。「九州の方は、一旦東京に飛んで新幹線で来られている方もおられるやに聞いております。

私のつれあい“にしい たかこ”の荣誉表彰池田孝二賞ならびに出版記念祝賀会にご臨席賜り誠にありがとうございます。

それでは、只今より にしい たかこの略歴と本の紹介、御礼の言葉の順に話を進めさせていただきます。

この間、新聞のコラム欄に 古来中国。朝鮮半島。台湾。よりいろいろの形で文化伝統が伝わってきました。 そんななかでも象形文字であります漢字は2000年もの昔、日本に伝わってきました。

私の連れ合いは、50年ほど前に嫁入りしてきました。 フラワーデザインをされる方は、想像することは得意と存じますが、それはそれは チャーミングで奥ゆかしい人だったので、奥の方へ飾っておき“奥様”と呼んでいたのですが、皆さまも御存じのように、奥に納まっているような人でなく、家の事をテキパキと進めるようになり“家内”とよぶようになりました。

子供が出来ますと、御多分に漏れず、力がつきます。そうしますと敬称語の「お」を家内につけますと「おっかない」になりました。 その頃よりフラワーデザインを習い始め、徐々に生徒さんを教えるようになり“先生”と呼ばれるようになりました。

いまでもそうですが、その頃より「今月の日経」私の履歴書に二代目 中村吉衛門氏が「一生修行。毎日 初日」と書いておられました。そのことに通じるとは思います。講習会や授業でお教えする作品は、必ず前もって、自分で納得できるまで夜遅くなっても練り直しています。この様な事が今回出版する事に繋がっていることと思います。

初めてJFTDのコンテストに出させていただき入賞しました。それからコンテストに出すたびに何らかの形で入賞し、「フラワーデザイナー」の仲間入り、そして本日は

「和 モダンで愉しむ フラワーデザイン」を出版させていただき「作家」と名前が変わりました。

呼び名が変わる当初の頃、私の髪は芥川龍之介のようにフッサア フッサ今は見違えるように（一回転しながら）余白が出来ております。店に立っておりますと子供が

「おっちゃん、ツルツルハゲヤ！！」と隣でお母さんが「ホンマの事 言うたらイカン」と それからこの余白を活かす方法を考えました。

口の周りにひげをたくわえました。そうするとどうでしょう。お客様の視線が上から下にずれたのです。その上「花屋のオッチャン」が「フロリスト」に大変身です。

そして、ここで15秒間話を中断しました。

場内はシーンと静まり返り、ビールを持った人、箸を持つ人、おしゃべりを中断する人、皆さんこの15秒間に付き合っただけです。

「打ち合わせをしていた息子の手が上がり15秒間が経ちましたので話を続けさせ

ていただきます。皆さんいろいろの事を想像なさったと思います。この大事な時に痴ほう症になられたかと、また書いたものを読めばいいのに」とか この間を取ることに  
よって。私への視線を熱く感じます。

今回出版させていただいた本の中には今申しましたように“想像と創造”によってい  
かに「間 余白」を活かすかという事が書かれております

ヨーロッパデザインがヨーロッパ地方の文化伝統として、受け継がれているように  
日本のフラワーデザイン界の垣根を取り除いて、今回のような「和」のデザインが日  
本の文化伝統として受け継がれるように、願っております。

最後になりましたが、講談社エディトリアル様、梅本先生、畑先生、平野先生、大本  
先生、そして目に見えないところで、非常にたくさんの方々のご協力があったと聞いて  
おります。

本当に皆様有難うございます。

2018年7月18日 西井 忠義